

令和4年度 技術力維持・向上対策研修(実践研修)

開催日時 令和4年10月18日(火)～10月20日(木)

研修会場 四国森林管理局(高知県高知市)

現地実習 朴ノ川山国有林3210林班(高知県須崎市上分)

受講者 県職員6名、町職員1名、森林管理局職員4名、森林整備センター職員1名、民間事業者3名

・1日目は、林野庁研究指導課安富係長からの開講挨拶後、サイプレス・スナダヤ砂田社長による将来展望を見据えた木材産業の現況講義を行った。その後、資料作成の手順・簡易架線概略・GIS等説明し、班ごとに搬出系統図の検討・案作成に入った。受講生たちは開講前着席時から自主的に情報交換を行うなど、良い雰囲気スタートした。また、砂田社長による講義では、国産木材産業の可能性にポジティブな影響を受けた様子だった。

・2日目は、各班1本の採材実習、現地搬出間伐の講義・見学、ドローンによる演習林を確認した。その後、会場へ戻り、四国森林管理局内にて架線集材模型操作を体験、班ごとに集材作業システムを再検討した。採材研修では、結果を造材により確認、傷の見落としを含めた実体験、架線集材の実操作など、机上と現実の差を体感した様子が伺えた。

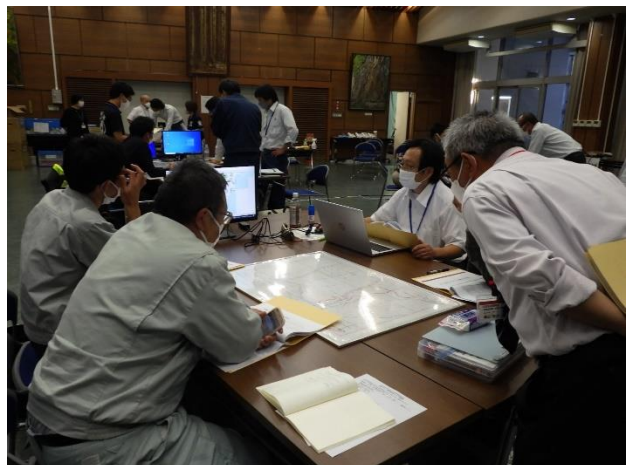
・3日目は、各班、集材作業システム検討結果についてプレゼン資料を作成、発表・質疑応答を行った。その後、資源活用課原田課長による講評、森林技術・支援センター渡辺所長による閉講の挨拶をもって本研修を終了した。

・全体的に各受講生が終始積極的に参画し、今後の実務への貢献が期待できる様子だった。

【研修の様子】(1日目)



サイプレス・スナダヤ砂田社長の講義



搬出系統図作成の様子

【研修の様子】(2日目)



採材研修の様子



清水林業社長の事業地説明の様子



架線集材模型操作の様子

【研修の様子】(3日目)



発表用搬出システム資料の作成



各班による発表